

ハンズオンセミナー5

随意運動介助型電気刺激装置 (IVES) と 手指装着型電極 (FEE) を用いた 電気刺激治療の理論と実際



定員
50名

2019年 **11月16日** 土

時間 16時10分～17時40分

会場 第9会場

(静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」9F 会議室910)

※本ハンズオンセミナーは事前の申し込みが必要です。

※第3回日本リハビリテーション医学会 秋季学術集会
ホームページよりお申し込み下さい。

http://www.pco-prime.com/jarma03/hands_on.html

Tomofumi Yamaguchi

講師

山口 智史 先生

山形県立保健医療大学
保健医療学部 理学療法学科 准教授

実技

生野 公貴 先生

西大和リハビリテーション病院 リハビリテーション部 技師長

工藤 大輔 先生

山形県立保健医療大学大学院 / みゆき会病院

小関 忠樹 先生

山形県立保健医療大学大学院 / 山形済生病院

片桐 夏樹 先生

山形県立保健医療大学大学院

脳卒中後の運動機能や痙縮の改善を目的に、電気刺激治療が用いられています。新しいタイプの電気刺激装置である随意運動介助型電気刺激装置 (Integrated Volitional control Electrical Stimulator:IVES) は、従来の一定の電気刺激を繰り返す電気刺激装置とは異なり、対象者の随意筋活動量に応じて電気刺激強度が制御される装置です。IVESは、日常生活場面を含めた長時間の使用が可能であり、脳卒中後の上肢機能改善を促進します。

手指装着型電極 (Finger-Equipped Electrode:FEE) を用いた電気刺激治療では、セラピストの手指にFEEを装着して治療対象部位へ接触することより、セラピストの意図した部位やタイミングで電気刺激が出力できるため、手技と電気刺激の併用が可能です。セミナーでは、IVESとFEEを紹介し、電気刺激治療の理論について説明します。また、参加者のIVESとFEEの使用経験によりグループ分けを行い、経験レベルに合った体験をすることで、その実際を学ぶことができます。